

## 回 答 書

2024年3月14日  
日本貨物鉄道株式会社

「JR貨物グループ中期経営計画2023」の最終年度となる2023年度は、鉄道ロジスティクス事業では貨物鉄道事業の役割発揮とさらなる収益性の向上、総合物流企業グループへの進化、不動産事業では自社用地の新規開発、外部物件の取得等による利益拡大の取組みを進めてきました。

鉄道運輸収入は年末に向け国内消費は盛り上がりが見られましたが、物価上昇に伴う消費の低迷もあり輸送量が伸び悩んだこと、コスト面では、原油価格高騰により電力料が大幅に増加したことなどにより、1月計画の経常利益はJR貨物単体で△69億円、JR貨物グループ連結で△53億円と厳しい決算となる見込みとなりました。

物流の2024年問題が迫る中で貨物鉄道への期待は増してきています。また環境に優しい鉄道による輸送はカーボンニュートラルに向けて大きな期待を寄せられています。こうした状況から、当社グループへの期待は非常に大きいものと受け止め、貨物鉄道輸送の役割を発揮し、その存在意義を示していくためのあらゆる取組みを当社グループ全体で進めていく事が求められています。

2024年度からはいよいよ新中期経営計画「JR貨物グループ中期経営計画2026」が始まります。計画の達成には社員一人一人の力の結集が必要です。新計画の初年度のスタートダッシュが重要となりますので社員の皆様一人一人の奮起、頑張りに期待し、以下の通り回答します。

### 1. 新賃金

定期昇給を実施すると共に、2024年7月1日現在（昇給前）の基本給に「1,500円＋基本給の0.1%」（平均1,800円）を加える。

### 2. 実施日

2024年7月1日とする。